

水俣病患者 の墓地発掘

熊大が水銀残存量調査

水俣病の水銀汚染の広がりを追
究している熊大医学部の公衆衛生
学、体質医学研究所衛生学各教室
は合同で二十二日、水俣市で水俣
病で死亡した人の墓地を発掘し始
めた。認定患者はこれで二人目、
未認定を含めると五人目。

墓は同市出目の患者浜元二徳さ
ん(三巴)の母マツさんのもので、マ
ツさんは三十一年九月十五日発
病、同年十二月一日水俣病に認定
され、三十四年九月七日五十八歳
でなくなった。発掘には松下敏夫
助教授(公衆衛生学)ら八人が当
たり、二十三日まで続ける。遺骨
の大部分を預かり、衛生学教室で
水銀の残存量などを調べる。